

2020年6月25日

2学年保護者・生徒 各位

北海道科学大学高等学校
校長 橋本達也

2020年度修学旅行について（ご連絡）

長い臨時休校が終了し、今月から本格的な学校生活を再開することが出来ました。教室はもちろん、部活動にも生徒の元気な声が響き、まだ気の抜けない日々が続く中で、少しずつ日常を取り戻しつつあると感じております。繰り下げ登校や土曜授業など、保護者の皆様には様々なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染状況がどのように変化していくかが明らかにならないまま、今後の学校行事についても判断が迫られております。今年度の修学旅行について、現時点での学校としての判断及び対応についてお伝えいたします。今後の推移によって、急な変更もあり得ます。逐次ご連絡させていただきますが、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

1 これまでの経緯

政府による緊急事態宣言を受け、当初予定の10月に実施することが困難になった場合に備え、2月に予備日程を確保し、ホテルの予約を取ることが出来ました。2つの日程を確保したまま、今後の推移を見守りたいと考えていましたが、2～3月に旅程を変更する学校が増加し、旅行業者から日程の選択を求められることとなりました。生徒達にとって高校生活最大の思い出である修学旅行を実現することを最優先事項とし、現時点で以下のように判断いたしました。

2 現時点での判断

(1) 当初予定（10月26～30日）の日程を変更せず、今後の状況に対応します。

冬期間については、新型コロナウイルスの他、インフルエンザの流行・雪害など、様々なリスクが存在します。リスクや旅行の満足度等を比較検討した結果、当初予定のまま今後の推移を見守り、2月の予約はキャンセルすることといたしました。

(2) 10月の実施が困難になった場合、

10月の実施が困難と判断した段階で、可能な日程・見学場所を検討し、新たに決定いたします。年度内での実施を基本とし、場合によっては日程の短縮や見学場所の変更など、当初の目的を変更して実施することもあり得ます。あくまで、修学旅行を実施できることを優先して対応し、費用も当初予定の範囲内となることを原則とします。

3 時期変更となった場合の費用について、

基本的には、当初予定していたホテル等のキャンセル料が発生しますが、変更理由（政府や自治体の指示か学校の独自判断か）や変更後のホテルが当初予定と同じかどうか等によって自己負担額に変更があります。

4 生徒の参加について

旅行中の感染防止には最大限の配慮をいたしますが、リスクをゼロとすることが困難であることも事実です。そうした状況も踏まえ、保護者・生徒の参加同意を原則とし、参加が困難な生徒には通常登校で対応いたします。参加同意後の個人的なキャンセルには、料金が発生する可能性がありますのでご注意ください。その他、ご意見・ご要望等には、これまで以上に慎重に対応いたしますので、お問い合わせください。

《お問い合わせ・連絡先》 学校代表電話 011-821-0173

以上